

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2026年3月6日（第1版）

承認番号	25199
課題名	自家静脈グラフトを用いた下肢動脈バイパス術後超音波検査における血流速波形の経時的変化
研究期間	西暦 2026 年 4 月 27 日（実施許可日） ～ 2031 年 12 月 31 日
研究の対象	2014 年 1 月～2021 年 12 月に当院で自家静脈グラフトを用いた下肢動脈バイパス術を行った方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：生年月日、性別、既往歴、治療歴、画像データ、画像診断結果） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
利用予定日	開始日：実施許可日から 1 ヶ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	自家静脈グラフトを用いた下肢動脈バイパス術は、元々静脈だった血管に動脈血流が流れるようになるため、術後に血管の大きさや血流の速さなどが時間の経過で変化します。また、超音波検査では血流の速さを波形として表すことができます。しかし、これまでその波形の変化について調べられた研究はありませんでした。この研究の目的は、血流速波形の変化を観察することで、その特徴を見つけることです。
研究の方法	自家静脈グラフトを用いた下肢動脈バイパス術後に定期的に行われた超音波検査の結果（血管の大きさ、血流の最高速度、波形の形態など）を使用します。これらが時間経過でどのように変化したかを調べます。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先  旭川医科大学病院 放射線部 診療放射線技師 鶴野正和（研究責任者）  連絡先：0166-69-3373</p>